



SeaBOS

## 2020年キーストーン・ダイアログの成果概要

タスクフォースI: IUU(違法・無報告・無規制)漁業および現代の奴隷労働への対応(代表 ホセ・ピジャロン、Nutreco、ドンウォン、マルハニチロ、チャールンポーカパンフーズ、スタンフォード大学、パーミンガム大学およびストックホルムレジリエンスセンター(SRC))

以下について合意した:

1. 2021年10月までに、われわれの水産事業においてIUU漁業による製品および強制労働を廃絶する。
2. 科学的根拠に基づいた方策を整備し、それを組み合わせることで、サプライチェーンにおいてIUU漁業による製品および奴隷労働が入り込むリスクを大幅に低減する。上記方策およびその実施に関連する計画は、SeaBOSより2020年12月31日までに公表する。さらに
3. IUU漁業と現代の奴隷労働は、世界の水産事業内に特有のものであり、全ての関係者による継続的な警戒を要するという認識のもと、このような動きがわれわれの事業やサプライチェーン内に存在しているという証拠に対して、迅速にかつ透明性をもって行動する。

このような問題を考慮した上でわれわれは、継続的な政策への関与と同時に整備される科学的根拠に基づく方策が、われわれのサプライチェーンにおけるIUU漁業と強制労働の両方を根絶する支えになるものと確信している。われわれの目標達成に対する進捗については、2022年10月と2025年10月に報告する予定である。

**合意事項:**「現代の奴隷」の定義を「強制、債務、または児童労働」であることと明確化する。

**合意事項:**メタ連合に参加し、違法漁業防止寄港国措置協定(PSMA)、トレーサビリティ、透明性およびSeaBOSの科学的根拠に基づくソリューションを推進する。

**確認事項:**科学的支援のもとタスクフォースIIにより開発された、科学的根拠に基づく効果的ソリューション。

**支援事項:**2021年10月までに、絶滅危惧種への影響を最小限にとどめるための「ベストプラクティス(最善事例)」を提供すべく、科学的取り組みを支援する。

**合意事項:**2021年10月までに、絶滅危惧種への影響を最小限にするため明確に期限を定めた目標を各社CEOに提言し、承認を得る。

**改編事項:**タスクフォースIIのトレーサビリティをタスクフォースIの業務へと(該当する担当者と共に)移行する。

タスクフォースII: トレーサビリティ(代表 ドリアン・マクベイン、タイ・ユニオン、Nutreco、スウェーデン王立科学アカデミー)

以下について合意した:

- **協働の継続:** フォーラムGDST(Global Dialogue on Seafood Traceability)との協働を継続する。必要に応じてこれら基準の採用を支持する。サプライチェーン全体の関与の決定的必要性を認識する。自主的なトライアルや、一部企業が基準を推進した経験から得た学びを共有し、またメンバーがGDST調査を継続的に完了させることを支持する。
- **改編事項:** 業務におけるトレーサビリティの基本的性質を鑑み、タスクフォースIIをタスクフォースIに(トレーサビリティのリーダーを継続するために指名された当該企業のメンバーと共に)移行し、IUU漁業と現在の奴隷労働を防ぐ。

タスクフォースIII 各行政機関との協働とAMR(養殖水産物の薬剤耐性)(代表 デイブ・ロブ、Cargill Aqua Nutrition、ニッスイ、ドンウォン、チャールンポーカパンフーズ、SRC、Beijer)

**認識事項:** 魚の健康目的で使用される様々な抗生物質の使用に関する規制や要件には、市町村、国家、地域、国際レベルで様々なものが存在する。

## Seafood Business for Ocean Stewardship (シーフード ビジネス フォー オーシャン スチュワードシップ: 海洋管理のための水産事業)

ストックホルム大学 スtockホルムレジリエンスセンター(SRC)、2B Krafttriket, 104 05 Stockholm, Sweden [www.seabos.org](http://www.seabos.org)

**確認事項:** 人間の健康と幸福は、特定の抗生物質の使用をできるだけ早く削減できるか次第であるという、明確なエビデンスがある。

**確認事項:** 特定の種および地域への抗生物質の使用を削減するという課題の是正に向け、機会を特定し、革新的なソリューションの開発を求める。

**合意事項:** 世界保健機関(WHO)により定められた「人間の健康のために非常に重要な最優先すべき抗菌剤および人間の健康のために非常に重要な抗菌剤」を水産養殖事業から大幅に減らす、あるいは段階的に削減するための方法を特定し、2021年10月までにロードマップを策定する。

(<https://www.who.int/foodsafety/publications/antimicrobials-sixth/en/>) その一環として、SeaBOSは以下の取り組みを行う。

- **策定:** 抗生物質の使用について、予防的実践例、推奨される治療法、および基礎段階での共同研究開発等の望ましい行動規範を、2021年10月までに策定する。
- **貢献:** SeaBOSメンバーが実施した、抗生物質調査の改良を可能にする分解能の高いデータで貢献する。
- **確立:** 代替的アプローチを特定するために、関連する専門機関との協働および交流関係を確立する。

**合意事項:** 行政機関および政府間グループ(国連グローバルコンパクトの持続可能な海洋ビジネス アクションプラットフォーム、持続可能な海洋経済の構築に向けたハイレベル・パネル等)との協働を継続する。

**タスクフォースIV: 透明性とガバナンス(共同リーダー ウェンチェ・グロンブレック(Germaq)および屋葺 利也(ニッスイ)、SRC、バーミンガム大学)**

**完了:** 科学界、業界、および基金との管理上および法律上の関係を最終化し、さらに以下について合意した:

-SeaBOSの関与の原則

-SeaBOSの調査プロトコル(法的助言と合わせ更新された内容に基づく)

-SeaBOS事務局とSRCの運営における主要事業部門

-反トラストポリシー(法的助言と合わせ更新された内容に基づく)

**謝辞:** 会長 伊藤滋氏へ、SeaBOSの会長就任に伴う過去2年間にわたるリーダーシップとご指導に感謝します。

**選出:** 任期2年

会長 テレズ・ログ・バークジョルド氏

副会長 クン・ティラフォン・チャンシリ(および会長伊藤滋氏を資金調達基金委員会での後任として**推挙**)

役員会メンバー 残り8社のCEO全員

新規メンバー選出委員会メンバー ゲール・モルヴィク氏およびイ・ミョンウ博士

**任命:** マネージング・ディレクター マーティン・エクセル

**合意事項:** 2021年10月3日 日曜日夕刻より、10月5日 火曜日夜まで、アムステルダムにて次回のSeaBOS年次総会を開催する。

**確認事項:** SeaBOS資金調達基金は、監査が適性と判断された、2019年の監査報告書を受領した。**推奨事項:** 資金調達基金は、出張だけでなく、一般賠償責任保険と製造物責任を保障する現在のレベルまで、保険適用を促す。

**推奨事項:** ディレクターと役員会の賠償責任保険については、いかなる申し立てについても、2,500万SEK(約285万USD)まで保険適用を拡大する。

**推奨事項:** 現在のSeaBOSポリシーおよびガイドラインを存続する。

SeaBOS総会運営委員会の手続き規則

出張および費用

職場における倫理、安全衛生

反トラストポリシー(法的助言と合わせ更新された内容に基づく)

**推奨事項:** 52万2千USDの支出が見込まれるSeaBOS資金調達基金の2021年予算。

**確認事項:** SeaBOSの取り組みに対するUSA基金からの支援に関するポジティブな最新情報、および**合意事項:** 2021年10月までに新規メンバーシップのオプションについて報告する。

**設立:** 「コミュニケーションタスクフォース」を設立した。

- ・ メンバーは推薦される予定
- ・ 2021年10月のキーストン・ダイアログに向けた戦略、そして

**確認事項:** 2021年10月までに持続可能な資金調達の構造モデルを開発する必要性を確認した。

#### タスクフォースV: プラスチック(代表 マクベイン、タイ・ユニオン、モウイ、極洋、SRC)

**策定:** 「街から海へ」フレームワークを策定した。

**推奨事項:**

- ・ 水産事業が最大の影響を与える可能性のある領域にフォーカスする。
- ・ 10万USDでGGGIの2020年～2021年の会員権を継続する。
- ・ 2021年9月までに、最大見積もり額2万5千USDにて、SeaBOSメンバーとその子会社に向け、年に1度の国際海岸クリーンアッププロセスを組織として開催する。

**合意事項:**

- ・ 政府機関と市民社会に対し、海洋においてプラスチックが問題になっているという懸念を提起することに加え、持続可能な水産物や健康的かつ栄養豊富な形のタンパク質は、健全な海あつてのものだと強調する。  
○これはわれわれの新しいコミュニケーション戦略の一部となり、水産品におけるマイクロプラスチックに関する科学的研究や成果を取り入れられる可能性もある。
- ・ 軽量プラスチックの製造、プラスチックの再利用、削減、リサイクルおよびプラスチックの堆肥化への画期的なソリューションに関し2021年に開催された学習ウェビナーの共有に加え、プラスチック包装のフットプリントについて、少なくとも隔年で報告を行う。

#### タスクフォースVI: クライメート・レジリエンス(代表 カタリナ・マーティン、モウイ、マルハニチロ、Cermaq、Cargill Aqua Nutrition、SRC、スウェーデン王立科学アカデミー、Bejier)

**合意事項:**

- ・ 各社は2021年10月までに、温室効果ガス排出量削減へのアプローチについて、科学的根拠に基づいた目標を確立し、報告する。
- ・ われわれが新規に設立するコミュニケーションタスクフォースの戦略に、SeaBOSの気候の回復力/リーダーシップを組み込む。
- ・ 以下を強調したSeaBOS総会ステートメントを支持する。
- ・ 水産品の生産に対する気候変動の影響。
  - ・ 各社が個別に、または組織的に行っている、温室効果ガス排出量軽減に向けた行動。
  - ・ 気候変動のリスクと影響を効果的に軽減する柔軟性や可能性をサポートし、「気候変動対応型」の持続可能な水産物を生産するための政府による規制の必要性。
  - ・ 世界人口の増加に対応できる、健康的で気候に優しいタンパク源としての持続可能な水産物の利点に対する認識の普及。
  - ・ SeaBOSの目標を支援するグループとの、持続可能な水産品の生産に対する気候変動の影響に対処するための規制やアプローチの改善を目指すための協力の継続。